

第5期

# 横浜市教育振興基本計画 素案

横浜市教育委員会

第1章 はじめに … 3

第2章 第5期横浜市教育振興基本計画について … 17

1 第5期横浜市教育振興基本計画策定に際して … 18

～「だれもが」「安心して」「豊かに」の人権尊重の精神を基盤として～

2 横浜市教育振興基本計画について … 19

3 横浜教育ビジョン2030 … 20

4 第5期横浜市教育振興基本計画のイメージ図 … 21

5 計画体系 … 22

柱1 全ての子どもの可能性を広げる学びの推進

施策1 主体的・対話的で深い学びによる資質・能力の育成 … 24

施策2 豊かな心の育成 … 33

施策3 健やかな体の育成 … 37

施策4 多様な教育的ニーズに応える一人ひとりを大切にする教育の実現 … 43

施策5 未来を切り拓く高校教育の進化 … 56

施策6 子ども一人ひとりの安心と挑戦を支え続ける環境の追究 … 59

柱2 ともに未来を創るグローバル人材の育成

施策1 異文化コミュニケーション力の育成 … 64

施策2 自分を創り、社会を創造する未来の創り手の育成 … 67

柱3 安心して学べる環境づくり

施策1 子どもの視点を尊重した安心できる学びの環境 … 70

柱4 社会全体で子どもを支える教育の推進

施策1 子どもの伴走者となる人たちとのつながり … 75

施策2 福祉・医療等とのつながりによる支援の充実 … 79

施策3 つながりによる家庭教育の支援 … 82

柱5 子どもたちの学びを支える魅力ある教職員

施策1 教員の養成・採用・育成の一体化と魅力発信 … 84

施策2 教職員の働き方改革の推進 … 92

柱6 子どもの学びを充実させる学校規模と学校施設

施策1 学校規模の適正化等 … 99

施策2 学校施設の老朽化対策と機能充実 … 101

柱7 市民の豊かな学び

施策1 生涯学習の推進 … 104

施策2 市立図書館の改善・充実とアクセス性の向上 … 109

6 教育委員会事務局の組織運営 … 112

7 指標一覧 … 114

8 脚注一覧 … 118

第3章 資料編 … 125

1 計画策定に向けたプロセス … 126

2 基礎データ … 139

3 横浜教育ビジョン2030（詳細版） … 140

4 教育基本法 … 143

## 第1章

---

# はじめに

Chapter 1

横浜の子どもが「今」大事だと思っていること

人とのつながり

世界とのつながり

未来へのつながり

69%

人(友達や先生)とのつながりが  
学校生活で大事だと思う

79%

外国人の人と交流する機会が  
増えるといい

92%

今よりも学び方を  
自分で選べるといい

87%

学校の先生や友達や家人だけでなく、  
話を聞いてくれる人がいてくれるといい

# 児童生徒の思い

「自分のことを学びたい。苦手なことはどうしたらいいか考えたいし、得意なことは将来につなげたい。」

「いろいろな世界や職業を知ることで興味の幅を広げ、自分の夢を見つけていきたい。」

「SNSやインターネットから正しい情報を見極める力をつけていきたい。新しい技術やAIをうまく使いこなせるようになりたい。」



「友達と教え合ったり、アイディアを出し合ったり、行事に取り組んだり、協力しながらすることが楽しい。」

「英語だけでなく他の国の言語も話せるようになって、外国の方と話したい。」

「SDGsの取組をきっかけに、自分たちで変えていけること、できることをやっていきたい。」



「自分の居場所を見つけたり、つくれたりすることが大事だと思う。居場所があれば、安心して挑戦できる。」

「みんなの前で発表することができるようになった。いろいろな人と話すことが楽しくなった。」

「コミュニケーションは苦手だけど、友達に何かを教えたときに『ありがとう』と言われると、嬉しい。」



「今」の子どもたちは、

小学生で1日約**4**時間

中学生で1日約**5**時間

高校生で1日約**6**時間

インターネットを利用して人や世界とつながっている

SNS等をきっかけとした事故等も10年で約**3**倍



## インターネットの利用時間の1日平均(R6)



## 子ども専用のスマホ保有率



## SNSを利用している割合



## SNSに起因する被害数



これから子どもたちが羽ばたく「未来」は

世界と瞬時につながり影響し合う社会

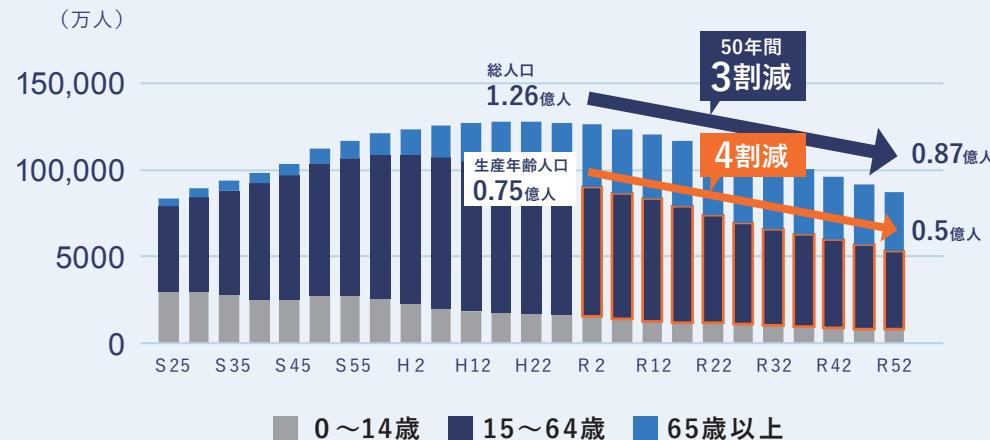


地球規模の課題解決が求められる、不確実性が高い社会

## (参考)図表

### 日本の将来推計人口

50年間で総人口は3割減。そのうち生産年齢人口(15~64歳)は4割減の見込みである。



### デジタル化の進展

デジタル技術の発展に伴い、世界のデータ流通量は、増加していく見込みである。



### 世界の不確実性指数の高まり・国際経済秩序の変動

主要新聞における政策を巡る不確実性に関する用語の掲載頻度を指数化すると、近年、世界における不確実性が高まっている。



出典:139ページ



子ども一人ひとりが  
「未来」を創るために必要なこと

自らの人生を舵取りするたくましさ



世界の人たちと出会ってともに新しい価値を  
創り出そうとする力



多様性や変化を受け止め、  
可能性を最大限に広げるしなやかさ



# 子ども一人ひとりの 「今」と「未来」を大切に

## 子ども一人ひとりの「今」を守る取組

### 安心して学べる環境づくり

人権尊重の精神を基盤として、多様化・複雑化した課題に気付き、きめ細やかに対応することなど、子どもたちの視点を尊重し、子ども一人一人が安心できる学びの環境を創ります。

特別な支援が必要な児童生徒、不登校児童生徒、日本語指導が必要な児童生徒、経済的に困難な状態にある児童生徒などを含め、全ての子どもが、どんなときでも安心できる柔軟で多様な学びの環境づくりを通じて、子ども一人ひとりの可能性を最大限に広げます。

特集:54ページ

各取組の数値は、本計画の目標値になります。

個別の教育支援計画等に基づき、  
一人ひとりの教育的ニーズを踏まえた適切な指導・支援がされて  
いると感じている保護者の割合

95%

学校が安心できる場所だと  
感じている児童生徒の割合

小6 87%  
中3 87%

# 子ども一人ひとりの「未来」を見据えた取組

各取組の数値は、本計画の目標値になります。

## デジタル時代の「子ども主体の学び」



デジタル学習基盤等を活用した児童生徒一人ひとりの状況の細やかな把握等を踏まえた、「子ども主体の学び」を実現し、資質・能力を着実に育成します。

「子ども主体の学び」を実現している児童生徒の割合

小6 90 %

中3 90 %

特集:32ページ

横浜市学力・学習状況調査における「学力レベル」で伸びを示した児童生徒の割合

小6 国語 68 %  
算数 70 %

中3 国語 70 %  
数学 73 %

算数・数学の授業で学習したこと、普段の生活の中で活用できている児童生徒の割合

小6 90 % 中3 70 %

## 横浜から世界につながる「グローバル教育」



英語等によるコミュニケーション力とともに、異文化と出会う意欲を高め、異なる背景を持つ人々と合意形成を図る力を育成します。

GREEN×EXPO2027を契機に、子どもの興味・関心を広げる体験機会を充実させ、持続可能な社会の創り手を育成します。

特集:69ページ

学習を通して見いだした地域や社会の課題を自分たちで解決できると思う児童生徒の割合

75 %

中学卒業段階でCEFR A1(英検3級等)相当以上の生徒の割合

85 %

## 魅力ある教職員

教員の養成・採用・育成の一体的な充実とともに、働き方改革の推進を通じ、子どもたちに向き合える環境を整えます

横浜の教育に魅力を感じ、働きがいをもっている1年目から3年目までの教員の割合

95 %

月の時間外在校等時間の平均時間

30 時間

## 学びを充実させる学校施設

児童生徒が適切な環境で学校生活を送ることができるよう、教育環境の整備を進めます。

トイレの洋式化率、体育館空調の整備率

100 %

エレベーターの設置率

90 %

## 全員給食の実施

心身の健康の保持・増進を通じて、健康で活力ある生活を送ることができるよう、中学校給食の着実な実施と食育を推進します。

特集:42ページ

栄養バランスを考え食事をしている児童生徒の割合

80 %

## 市民の豊かな学び

だれもが生涯にわたって主体的に学び続けられるよう、図書館や博物館などの多様な学びの場を整え、学びの活動や体験の充実を図ります。

特集:111ページ

図書館の来館者数

730 万人

図書の貸出冊数

1,320 万冊

現状値から  
100万人増  
100万冊増



# 子ども一人ひとりの意見を聴くこれまでの主な取組

こども基本法(令和4年法律第77号)、横浜市こども・子育て基本条例(令和6年条例第30号)の趣旨を踏まえ、第5期横浜市教育振興基本計画策定に際しては、横浜の児童生徒が「今」学校生活で大事だと思っていることや「未来」に向けて学んでいきたいことなどの意見を聴き、その意見を踏まえた計画としています。

## 1 1人1台端末を活用したアンケート

- 対象 小学校(4~6年生)、中学校、義務教育学校、特別支援学校(小学部4年生~高等部3年生)、高等学校
- 実施期間 令和6年9月19日(木)~10月10日(木)
- 回答者数 59,955人
- 回答結果 126ページ参照

## 2 学校訪問による対話

- 対象 小学校、中学校、義務教育学校、特別支援学校、高等学校の児童生徒
- 実施期間 令和7年6月~11月
- 実施内容 128ページ参照

## 3 子ども実行委員による協議

- 日程 令和7年8月19日(火)
- 内容 児童生徒が子ども実行委員として、教員や中央教育審議会委員、連携企業、起業家とこれからの学びについて協議を実施



子ども実行委員による協議

## 4 「よこはま子ども国際平和プログラム」子ども実行委員会

- 実施期間 令和6年8月～12月
- 参加者数 児童生徒38人
- 内 容 「よこはま子どもピースメッセージ2024」の作成をはじめ、子ども実行委員会の活動で実施



よこはま子ども国際平和プログラム

## 5 「GREEN×EXPO 2027 子ども参画プログラム スタートミーティング」の開催

- 実施期間 令和7年5月29日(木)
- 参加者数 児童生徒42人
- 内 容 SDGs 達成の担い手育成の取組として参加団体や企業と意見交換を実施



GREEN×EXPO 2027 子ども参画プログラム  
スタートミーティング

## 6 横浜市いじめ防止基本方針改定素案に関する意見

- 実施期間 令和7年2月25日(火)～3月24日(月)
- 回答件数 3,456件(子ども意見)
- 内 容 横浜市いじめ防止基本方針の改定に児童生徒の声を反映するため、改定素案に対する意見募集を実施

## 7 横浜市特別支援教育推進指針の策定に向けたアンケート

- 対 象 盲特別支援学校、ろう特別支援学校、高等特別支援学校等3校に在籍する高等部の生徒(1年生～3年生)
- 日 程 令和5年1月～2月
- 内 容 「横浜市特別支援教育推進指針」の策定に向けた特別支援学校に通う生徒向けアンケートを実施

今後も、日々の教育活動も含めたあらゆる機会を捉えて、子どもたちの意見を聴いていきます。

## 「学ぶなら横浜、教えるなら横浜」を目指して



「子どもたちにはいろんな可能性がある。その成長を近くで見ることができることが何より嬉しい。」

「一人ではできないことがある。だから、みんなでやる楽しさを知ってほしいし、学校でしかできないことがある。」

「蒔いた種がどうなるかは見えにくい。でも、花が開くのを信じて蒔き続けたい。」

公式 note  
「ヨコエデュ」



出典：137 ページ